

## 特集

「気持ちのいい」ケアを  
教えよう！

「気持ちのいいケア」を教えるには 縄秀志

気持ちのいいモーニングケア 大橋久美子

気持ちのいい全身清拭 樋勝彩子

気持ちのいい手浴 矢野理香

気持ちのいい排泄ケア～温電法を例にして 佐居由美

## 【連載】

考える力を育てるシンキングツールの活用・2 黒上晴夫

笑いの伝道師 W マコトのコミュニケーション革命！・5 W マコト

臨床教育学 わからないこととの出会い・5 遠藤野ゆり

看図アプローチへの招待・5 鹿内信善／徳永基与子ほか

アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま・14(最終回)

新福洋子

宮子あずさのエキサイティング Writing・17 宮子あずさ

“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・25

斉藤奈緒美／石川雅彦

## 編集後記

●「クラウドファンディング」をご存知でしょうか？ 群集(Crowd)と資金調達(Funding)という言葉を組み合わせた造語で、インターネットを通じて、不特定多数の人から資金を集める仕組みのことです。「古文書解読のため」「外国への文化交流大使派遣のため」「自作のアート作品を披露する展覧会のため」など、調達規模も手間ひまのかけ方もさまざま。あらゆるジャンルでクラウドファンディングは行われています。援助金額によって何らかのリターンはありますが、投資ではなくあくまで支援なので、見返りを求めない、いわば一口タニマチになるようなものです。●ぜひ一度検索してみてください。多くのテーマのなかから自分の興味のあるものがきっと見つかるはずです。ちなみに私は、いまは「インドネシアの看護大学生のための無償の日本語教育」というテーマを援助しています。

……大野

●今回は現象学の特集でした。現象学そのものの本や、わかりやすい解説本はたくさん出ていますが、今回は小誌ならではのことで、そういう勉強ではなく、日々の実践に悩む看護教員の方々と現象学の出会いに軸をおいています。ご登場の先生方は、「現象学、おもしろい」と仰っている方々ですが、みなさんはどう感じられたでしょう。やはり難しかったでしょうか。●お話によると、「自分のこれまでの見方とは異なった見方が求められる」部分が、難しいと感じる理由のようです。もしかすると、これは看護を学ぶ学生さんが、看護過程など思考回路を学ぶ際に難しさを感じる理由と同じなのかもしれません。そして「おもしろい」と思った部分は、「自分の体験と結びつけて考えられたと気づいたとき」でした。これも、きっと学生さんとなつがるのかな、だと良いな、と思います。……番匠

◎編集室ツイッター

http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第57巻 第4号 2016年4月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2016年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、冊子＋電子版／共有20,880円、電子版／個人15,540円、電子版／共有17,880円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

## JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.57 No.3

2016 年 3 月  
特集

## カリキュラムを「拡張」しよう！

看護教育においては、国家試験合格という 1 つの目標があるため、他の教育に比べて自由なカリキュラム作成の余地が多くありません。若年人口の減少と教育機関の増加という 2 つの状況から鑑みても、本来であれば、学校、大学の特徴を強く打ち出し、独自のカリキュラムを編成したいところですが、なかなかそうはいかないのが現状でしょう。そこで、発想転換の勧めです。カリキュラムはある程度固められて、そこに自由裁量の入る余地が少ないのなら、カリキュラム外(extra-curricular)を活用することです。ただ、単純に課外活動を増やせばいいということではありません。卒業単位には含まれない教育的な準正課教育(co-curricular)に教職員が積極的に関与し、カリキュラムを「拡張」するということです。今まで行っていた活動もカリキュラムと結びつけることによって、教育効果を上げ、その教育機関に望ましい学生の成長が期待できるでしょう。カリキュラム外はカリキュラムと無関係というわけではありません。その点を外しさえしなければ、新たに何かを始めずとも、拡張はできるはずですよ。

- 準正課教育を活かして、カリキュラムを広くとらえよう……………山田剛史
- カリキュラム「外」の活動をカリキュラムと結びつけるために……………近藤麻理
- 批判的思考態度を育て、「平和」を問い直す研修旅行……………片岡和江
- 臨床を視野に入れた接遇(おもてなし)教育……………高塚由香里
- 時間外に行う委員会活動で育つ学生の力……………佐々木美奈子



Vol.57 No.2

2016 年 2 月  
特集

## 看護観の伝承

看護師ならば、一度は「あなたの看護観はなんですか」と尋ねられた、あるいはレポートなどに書いた経験があるのではないかと、思います。基礎教育の現場では、多くの先生が、良い看護観を学生に養ってほしい、という思いを抱かれています。それでは、そうした先生は、どのように看護観を養われてきたのでしょうか。多くの出会いや経験のなかで育まれてきたものとはいえ、源流の 1 つには、恩師と呼ぶべき存在から、受け継いだものがあるのでは、と思います。今特集では、さまざまな世代の先生方が、ご自身の「師」にあたる方々の、どのような振る舞いや言葉から「看護観」を感じ、学ぶ経験とつながっていたのか、そしてそこで得られたそれぞれの「看護観」を、自身のなかで変化もさせつつ血肉と化し、後進にどのように伝えていこうとされているのか、実践にそってご執筆いただきました。読者のみなさまも、自身のこれまでの歩みをふり振り返り、学生さんにどのように看護観を伝えていくか、とらえ直していただくきっかけとして頂ければ幸いです。

- 看護とは科学であり、アートである——伊藤暁子先生に教わった「看護観」「看護教育観」……………山西文子
- 恩師の遺言「看護は患者との信頼のうえに成り立つ」……………江川万千代
- 看護は変化を起こすものである——「村松静子先生の電話」から受け取ったもの……………丸山育子
- 看護師は患者の回復をあきらめない——紙屋克子先生の信じる強さ……………日高紀久江
- 愉しみつつ、教育の信念を貫き具現化する——安酸史子先生の姿勢から……………増満誠



[2016 年 1 月号 (Vol.57 No.1)]

形・型・可で技術教育の「安楽」を考えよう！

[2015 年 10 月号 (Vol.56 No.10)]

あらためて  
How to ロールプレイ！

[2015 年 12 月号 (Vol.56 No.12)]

グラフィック・シラバスとカリキュラム・マップ 授業とカリキュラムを「見える化」しよう！

[2015 年 9 月号 (Vol.56 No.9)]

「看護研究」で  
実践力を鍛える

[2015 年 11 月号 (Vol.56 No.11)]

学生の答え、ちゃんと待てますか 今こそ知りたいファシリテーションの心構え

[2015 年 8 月号 (Vol.56 No.8)]

グループワークを  
「本物」にしよう！

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2014 年 2 月号 (Vol. 55, No. 2) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2014 年 3 月号 (Vol. 55, No. 3) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。